

令和元年5月19日（日）、長久手小学校で行われた第8回長久手市消防操法大会の結果発表後の市長講話を紹介します。消防操法大会は、消防の基本であるポンプ車からの放水について、行動・動作全般、放水までの所要時間について競うもので、長湫分団A・Bチーム、岩作分団、上郷分団の4チームが参加。団員たちは優勝をめざし、4月上旬から夜間に日々、訓練に励んできました。

友情、つながり、まちへの思い

優勝した長湫Aチームのみなさん、おめでとうございます。7月20日の県大会も、ぜひ、頑張ってください。

各チームの選手のみなさん、各分団で日々の訓練を支えていただいた選手以外の団員のみなさんも、本当にお疲れさまでした。陰で大会を支えてくださった機能別消防団員(*1)、女性消防団員のみなさんも、ありがとうございました。



消防団のみなさんは、4月から毎夜、仕事を終えてから訓練を行い、今日を迎えられました。大変なこと、辛いこともたくさんあったと思います。でも、そうした大変なことがあるからこそ、友情、つながり、まちへの思いが育つと思います。

今日は、いずれのチームも、甲乙つけがたい内容でした。特に上郷分団では、46才の選手が参加してくれました。幅広い年齢の団員が、地域のために、市民のために、熱い思いを持って、頑張ってくれていることに感動しています。

応援にお越しくださっている来賓、団員のご家族、地域の方々にはお願いです。

本市の消防団は、120人が活動していますが、定員を大きく下回っています。もし、ご近所に、消防団に相應しい年齢の人がお住まいでしたら、ぜひ、加入を勧めていただきたいのです。キッズ消防団(*2)の子ども達は、今日の選手の雄姿を見て、「カッコイイ！」と感じて、大きくなったときには消防団に加入してくれると期待しています。

消防団員の中には、普段は、長久手市外に勤めている人も大勢います。長久手市役所の職員もいます。いざ、日中に災害が発生したとき、市外で働く消防団員は、長久手に戻っ

て来られないかもしれません。消防団、市役所の職員だけで、まちを守ることはできません。いざと言うときには、ご近所どうし、日頃からのつながりづくりの積み重ねが大切です。ぜひ、普段から声を掛け合ってくださいと思います。講評ということでしたが、お願いごとばかりでごめんなさい。これからもよろしくお願いします。

- * 1 機能別消防団員……大規模災害時に消防団の役割が増加・多様化し、基本団員のみでは人手不足が生じる場合に限り活動する団員。市内に在住在勤で心身ともに健康で、元消防団員、元消防職員の経験がある人。
- * 2 キッズ消防団……防火防災に関する知識と技術を習得するとともに、各種訓練や活動などを通じ、各々が人を思いやり、助け合う気持ちを持ち、地域防火・防災の担い手を育成することで、将来の消防団の入団につなげることを目的に設立。市内在住の小学校5・6年生が活動。